

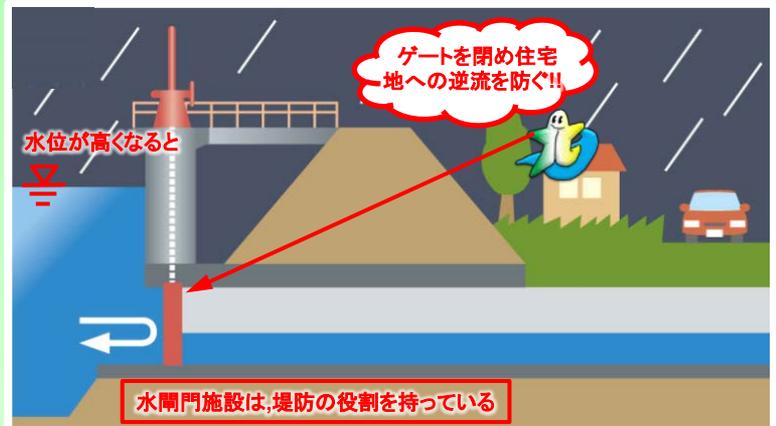


水門等水位観測員 講習会開催

先週の1月28日(木)、北上川学習交流館 あいぽーと1階学習スペースにて、一関出張所管内にある樋門・樋管49箇所の水門等水位観測員講習会が行われました。

水門等水位観測員(旧 水閘門操作員)とは、河川が増水した際に宅地や田畑などが浸水しないように排水樋門・樋管や陸閘の開閉操作を行う方々です。また、洪水時に施設の機能を正常に稼働できるように定期点検や地震発生時の臨時点検なども行っています。

講習会では、洪水時のゲート操作や地震時点検の留意点などについて再確認を行いました。



洪水により川の水位が高くなると、川の水が樋門を通して住宅側に流れ込み(逆流)、浸水被害が発生するため、樋門の扉を閉めます。



岩手河川国道事務所 河川管理課
田中課長よりゲート操作についての説明の様子



樋門樋管の点検についての映像説明の様子

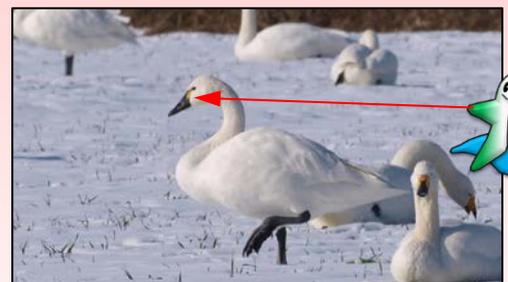
一関管内に飛来する冬鳥

一関管内の磐井川や北上川、一関遊水地で様々な渡り鳥の飛来が確認されています。特にオオハクチョウ・コハクチョウなどがみられました。

冬鳥の姿は、3月末頃まで見られます。興味のある方は散策してはいかがでしょうか。



▲オオハクチョウやコハクチョウ



▲アメリカコハクチョウ
コハクチョウに比べと嘴基部の黄色が小さい

◆編集後記◆インフルエンザが流行っています。手洗いうがいはもちろん、睡眠をよく取って栄養のある物をしっかり食べる、そんな小さな心がけがウイルスを寄せ付けない秘訣かもしれないですね。(りよ)